

教科(科目)	数学 (数学A)	単位数	2	学年(系)	4年
使用教科書	高等学校 数学A (数研出版)				
副教材等	新課程 チャート式 解法と演習 数学 I + A (数研出版) 新課程 クリアー 数学 I + A (数研出版)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。</p> <p>②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切に思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。</p> <p>③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～</p> <p>①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。</p> <p>②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。</p> <p>③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。</p> <p>④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。</p>

2 学習目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との係わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

3 指導の重点

基礎的な事項の確実な定着をはかり、確かな学力を養成する。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにしている。	事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、現実の事象を数学的な表現を用いて的確に表現する力を身につけるようにしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うようにしている。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小考査（小期末，小中間） ・長期休業明けの課題テスト などから総合的に評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小考査（小期末，小中間） ・長期休業明けの課題テスト などから総合的に評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取組状況 ・課題への取組状況 ・小テスト，レポート などから総合的に評価します。
内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7 8 9 10	場合の数と確率	33	教科書 チャート クリアー	「確率」とは、ある事柄の起こりやすさを表す数値である。確率の計算では、今考えている場合の数をもれなく、重複することなく数え上げることが必要である。ここでは、集合の要素の個数の求め方と場合の数を効率よく数え上げるために重要な考え方である「順列」「組合せ」について学ぶ。次に、それを生かして複雑な事柄の確率にも取り組んでいく。	33	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業の取組(学習活動への参加状況) ・課題への取組状況 ・小テスト・レポート
10 11 12 1	数学と人間の活動	20	教科書 チャート クリアー	整数の性質やその活用法について学ぶ。約数と倍数について、素因数分解により公約数、公倍数を求める方法やユークリッドの互除法の仕組みを学ぶ。また、二元一次不定方程式の解の意味の理解や、簡単な場合の整数解の求め方を学ぶ。さらに、記数法の仕組みを理解し、整数の性質の事象への考察の活用について学ぶ。	20	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業の取組(学習活動への参加状況) ・課題への取組状況 ・小テスト・レポート
1 2 3	図形の性質	20	教科書 チャート クリアー	中学校で得た知識をもとに、三角形や円の基本的な性質を体系的に学習する。さらに、空間での直線や平面についての性質や相互の関係、多面体に関する基本的な性質を学習する。	20	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業の取組(学習活動への参加状況) ・課題への取組状況 ・小テスト・レポート

計73時間(48分授業)

7 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題を課します。詳しくは別途指示します。

8 担当者からの一言

<p>数学Aは今後の数学を学んでいく上で土台となる科目です。きちんと理解することが重要です。問題を解くだけでなく、日常生活でどのように活用されているのかも学んでいきます。また、答えだけでなく答えに至る過程やその考え方が重要になるので、論理性も学んでいきます。</p> <p>高校数学の基礎になるので、その力を身につけていく努力をしましょう。</p>
--